

HOSEI

法政大学国際日本学研究中心・国際日本学研究所  
ハイน์リッヒ・フォン・シーボルト没後100年国際シンポジウム

# 小シーボルトの業績

日本の民族学的研究と  
日本研究におけるコレクションの役割



連絡先:法政大学国際日本学研究中心事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 九段校舎別館1階

TEL 03-3264-9682 FAX 03-3264-9884

E-mail: nihon@hosei.ac.jp

法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー 26階 スカイホール

**2008年3月1日(土)・2日(日)**

**3月1日(土) 10:00~17:30**

第1部 小シーボルトの生涯と業績

第2部 日本の民族学的研究【小シーボルト以後】

**3月2日(日) 10:00~16:30**

第3部 日本研究と日本コレクション

# Life and Work of Heinrich (Henry) von Siebold

## 小シーボルトの業績

—日本の民族学的研究と日本研究におけるコレクションの役割—

# -the Ethnological Study of Japan and the Role of Collections within Japanese Studies-

平成20年は、ハインリッヒ・(ヘンリー)フォン・シーボルト(通称:小シーボルト)が1908(明治41)年8月11日に南チロル州ボーツェン市郊外のエッパン村フロイデンシュタイン城で亡くなってから100周年に当たる。父フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの次男として1852年7月21日ドイツ・ライン川岸のポツバルド市に生まれ、ボンやヴェルツブルクで育ち、青年期の1869(明治2)年、日本へ渡来、約30年間東京でのオーストリア・ハンガリー公使館に通訳官や外交官として勤めながら、父・大シーボルトの未完の日本研究大集成を完結するよう研究を重ねた。

当シンポジウムは小シーボルトの業績を比較研究の立場から分析し、その今日的な意義を総括することを目指す。

### program 1

2008年3月1日(土) 法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー26階 スカイホール

#### Time Schedule

10:00~10:10 開会/挨拶(法政大学国際日本学研究所長 星野 勉)  
Opening (Hoshino Tsutomu Prof., Director Inst. of International Japan Studies, Hōsei Univ., Tokyo)

### 第1部 小シーボルトの生涯と業績 (司会:小林淳一)

10:10~10:40	小シーボルトの生涯と業績 Henry von Siebold's Life and Scholarly Achievements	ヨーゼフ・クライナー(法政大学特任教授) Josef Kreiner Spec. Prof., Hōsei Univ., Tokyo
10:40~11:20	ブランデンシュタイン家文書にみられる ハインリッヒ・フォン・シーボルトの日本における活動について The Activities of Heinrich von Siebold in Japan as documented in the Papers found in the Brandenstein Archive	宮坂 正英(長崎純心大学人文学部教授) Miyasaka Masahide Prof., Nagasaki Junshin Univ.
11:20~12:00	ハインリッヒ・フォン・シーボルトと日本考古学の黎明期 Heinrich Philipp von Siebold and the Dawn of Japanese Archaeology	小倉 淳一(法政大学文学部専任講師) Ogura Jun'ichi Senior Lecturer, Hōsei Univ., Tokyo
12:00~13:00	お昼休み Lunch Time	

### 第2部 日本の民族学的研究 —小シーボルト以後— (司会:ヴォルフガング・ミヒェル)

13:00~13:40	小シーボルト以後の日本民族学・文化人類学の展開 The Development of Ethnological Studies in Japan after Henry von Siebold	ヨーゼフ・クライナー(法政大学特任教授) Josef Kreiner Spec. Prof., Hōsei Univ., Tokyo
13:40~14:20	ウィーンにおける日本の民族学的研究 —岡正雄とA.スラヴィク— Japanese Ethnological Study in Austria —Oka Masao and Alexander Slawik—	住谷 一彦(立教大学名誉教授) Sumiya Kazuhiko Prof. emer., Rikkyō Univ., Tokyo
14:20~15:00	一人の文化人類学者が日本を見つめている —ドイツ語圏における日本の文化と社会についての民族学的研究— The Cultural Anthropologist looks at Japan: Ethnological Research on Japanese Culture and Society in the German-speaking Academic World	ハンス・ディター・オイルシュレガー(ボン大学准教授) Hans Dieter Ölschleger Senior Lecturer, Univ. of Bonn
15:00~15:30	コーヒーブレイク Coffee break	
15:30~16:10	ルロア・グーランと日本文化 André Leroi-Gourhan and Japan	ジョセフ・キブルツ(フランス国立科学研究センター教授) Josef Kyburz Prof., C.N.R.S., Paris
16:10~16:50	西洋の日本研究におけるビジュアル回転 The Visual Turn in Japanese Studies in the West	セップ・リンハルト(ウィーン大学東アジア研究所長、ウィーン大学教授) Sepp Linhart Professor and Director, Institute for East Asian Studies, Univ. of Vienna
16:50~17:30	討論・閉会 Discussion and Closing Remarks	

### program 2

2008年3月2日(日) 法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー26階 スカイホール

#### Time Schedule

10:00~10:30 開会/挨拶(法政大学特任教授 ヨーゼフ・クライナー)  
Opening (Josef Kreiner Spec. Prof., Hōsei Univ., Tokyo)

### 第3部 日本研究と日本コレクション (司会:ジョセフ・キブルツ、宮坂正英、ヨーゼフ・クライナー)

10:40~11:10	小シーボルトの工芸美術コレクションの ヨーロッパの美術史におよぼした影響 The Lives of a Collection - Origin, History and Future of the Heinrich von Siebold Collection	ヨハネス・ヴィーニンガ(オーストリア工芸美術館東洋部長) Johannes Wieninger Curator of the East Asian Art Dep: MAK - Vienna
11:10~11:40	米国ピーボディ・エセックス博物館所蔵のモースコレクション から見るベリー以前以後の日米異文化交流 The Dawn of Japanese and American Cultural Exchange: from the Morse Collection at the Peabody Essex Museum, Salem, Massachusetts.	小林 淳一(東京都美術館副館長) Kobayashi Jun'ichi Vice-Director, Tokyo Metropolitan Museum of Art
11:40~12:40	お昼休み Lunch Time	
12:40~13:10	ヨーロッパにおけるアイヌ関係コレクション: その民族学的意義と西洋のアイヌ観への影響 Ainu Collections in European Museums: Their Importance for Ethnology and their Impact on the Image of the Ainu in the West	ハンス・ディター・オイルシュレガー(ボン大学准教授) Hans Dieter Ölschleger Senior Lecturer, Univ. of Bonn
13:10~13:40	江戸モノづくりに関するコレクションの役割 The Role of Collections in "Inventions in the Edo period"	鈴木 一義(国立科学博物館 理工学研究部 科学技術グループ 研究主幹) Suzuki Kazuyoshi Sen. Researcher, National Museum of Nature and Science, Tokyo
13:40~14:10	江戸期の日本におけるコレクションについて Collections in Edo Period Japan	ヴォルフガング・ミヒェル(九州大学 大学院言語文化研究院教授) Wolfgang Michel Prof., Faculty of Languages and Cultures, Kyushu Univ.
14:10~14:40	コーヒーブレイク Coffee break	
14:40~15:10	子爵澁澤敬三のアチック・ミュージアム The Attic Museum established by Viscount Shibusawa Keizō	近藤 雅樹(人間文化研究機構 国立民族学博物館 民族文化研究部・教授) Kondō Masaki Prof., National Museum of Ethnology, Osaka
15:10~15:40	ベルリン国立民族学博物館所蔵の 琉球王朝時代の染織コレクションの意義 The Significance of the Ryukyuan Textile Collection of the Berlin National Museum of Ethnology	祝嶺 恭子(沖縄県立芸術大学名誉教授) Shukumine Kyōko Prof. emer., Okinawa Pref. Univ. of Art
15:40~16:10	在欧能・狂言面の研究 A Study of Nō and Kyōgen Masks in Europe	西野 春雄(野上記念法政大学能楽研究所長、法政大学文学部教授) Nishino Haruo Prof., Director Nogami Memorial Inst. of Nōgaku Studies, Hōsei Univ., Tokyo
16:10~16:30	閉会(法政大学特任教授 ヨーゼフ・クライナー) Closing Remarks	Josef Kreiner Spec. Prof., Hōsei Univ., Tokyo